

# ゆりはま 議会だより

## 6月定例会

提出議案の内容

2面

一般質問 8人の議員が問う

4面

議会だよりアンケート結果

10面

常任委員会審議内容

12面

意見交換会の案内

15面

## 大漁だぜえ

(あさひ保育所・たなばたまつり)

町HP上で動画配信中!



# いよいよスタートした 幼保一体へふくらむ期待



5月13日(日)  
はわいこども園  
(園庭の芝張り作業)

## 質問項目

- ①お子さんのクラス
- ②以前の保育所・幼稚園
- ③新しい園になってどうですか？

### ◆松本和芳さん

- ①年長組 ②羽合幼稚園
- ③PTA活動に問題ができた。土曜日に行事をする  
と、短時間部の人々が有料になる。行政にも何  
とか理解してほしい。新しい園を保護者もいっ  
しょになって盛り上げたい。  
元プールだったところの駐車場は残してほし  
い。今日も園の駐車場だけでは足らなかった。  
路上駐車は危なくて絶対だめです。



### ◆坂口弘樹さん

- ①きりん組とぱんだ組
- ②浅津保育所
- ③浅津は狭くて、古くて、寒くて。新し  
い園舎は広くて、友だちもいっぱいでき  
た。

### ◆尾嶋寛さん・麻美さん

- ①きりん組とうさぎ組
- ②羽合幼稚園
- ③友だちもたくさんでき、マラソンなど  
に頑張っている。安心してお任せして  
いる。

### ◆山下由起子さん

- ①きりん組 ②羽合幼稚園
- ③幼稚園の園庭が狭くて運動会ができなかつ  
た。芝生の上で裸足で走り回るのが楽しみ。  
周りの道が広いので事故がないように。



### ◆園長先生

走りながら考え、考えながら走っている状態。今日はライオンズとの共同作業で、  
保護者活動の第1回目の行事。お天気もよくて200名くらいの参加でしょうか。畑  
の土入れもしていただき、うれしいです。



## 議会の傍聴をお気軽に

皆さんが選んだ議員が、どんな活動をしているか、また、身近な問題がどのように処理さ  
れているか関心がありませんか。議会の日程などは、議会事務局にお問い合わせください。  
議会及び議会事務局に関するご意見をお聞かせください。

☎ 35-5341 FAX 35-3697 メール ygikai@yurihama.jp

あなたの声をお待ちしています。

## 編集後記

7月から牛の生レバーの提供  
が禁止された。レバ刺しファン  
としては残念ではないが、  
同じ思いの方も多いのではない  
でしょうか。

さて、衆議院で可決された社  
会保障と税の一体改革関連法  
案、民主党が分裂する中、法案  
は参議院での審議が始まる。消  
費税の引き上げで生活はどう変  
わるのか、社会保障制度が将来  
も安心できる制度になるのか、  
今後の政治の動きが気になるこ  
ろではないでしょうか。

気になるといえば、議会では  
8月に町内3か所の会場で、「住  
民との意見交換会」を開催する  
こととなりました。議会として  
皆さんと意見交換するのは初め  
での試みです。ぜひ会場でご意  
見をお聞かせください。

(記 浜中)

議会広報常任委員会

委員長

副委員長

委員

上野昭二  
増井久美  
会見祐子  
吉村敏彦  
河田洋一  
浜中武仁

# 4月の暴風災害の早期復旧に向け一歩前進

平成24年6月定例会が、6月15日から6月22日までの8日間の会期で開催されました。平成24年度各会計補正予算、条例の制定・一部改正など提出された16議案はすべて原案どおり可決しました。また、財団法人ゆりはま温泉公社ほか各公社の経営状況など8件の報告も受けました。



浸食被害を受けた羽合海岸

## 補正予算

### ☆一般会計

歳入歳出それぞれ7025万5千円を追加し、補正後の予算の総額を89億1925万5千円とするもの。

#### 《主な補正内容》

- 公共施設等建設基金積立金 2800万円
- 「はわいこども園」西側町有地の売却代金を「公共施設等建設基金」へ積み立てる。

## 遊休町有地の売却で財源確保へ

- コミュニティ助成事業 1090万円  
財団法人自治総合センターに採択された高辻、浜、門田、長瀬西部の4集落への施設整備などの助成に係る経費。

- 中山間地域づくり総合支援事業 224万円  
無店舗地域の高齢者などに対して、食料品や日用品などの移動販売による生活サービスを実施するための経費。

- 天女の降る里づくり事業 約550万円  
天女イメージキャラクターの募集やグッズ

### ● 予防接種事業

約217万円  
おたふくかぜと水ぼうそうの予防接種費用の助成に係る経費。

### ● 暴風被害復旧対策支援事業

約250万円  
4月の暴風で被害を受けた園芸施設などの復旧、農作物の被害拡大を防止するための緊急防除などに要する経費。

### ● 新規就農総合支援事業費補助金

150万円  
いちご栽培を行う青年新規就農者に対して給付金を給付する。

### ● 羽合漁港施設管理経常経費

約224万円  
羽合漁港内に堆積した土砂を、浸食被害を受けた羽合海岸へ移し、海浜の改良と維持を図るための経費。

### ● 北浜中学校管理運営臨時経費

約145万円  
地下タンクの漏れを検知する設備の設置に要する経費。

### ● 文化財保護臨時経費

100万円  
尾崎家庭園と一体をなす住宅部分（県指定文化財）の国重要文化財指定に向けた写真撮影など、資料整備に要する経費。



「ハッピーバーディー」による移動販売

### ☆介護保険特別会計

歳入歳出それぞれ90万6千円を追加し、補正後の予算の総額を16億7290万円とするもの。

#### 《主な補正内容》

筋力トレーニング事業の実施事業所の拡大と、終了者を対象とした週1回のトレーニング枠の新設による増額補正。

### ☆温泉事業特別会計

歳入歳出それぞれ1785万9千円を追加し、補正後の予算の総額を3688万2千円とするもの。

#### 《主な補正内容》

4月の暴風で被害を受けた町有2号源泉施設の復旧に要する経費の増額補正。

### ☆長瀬財産区特別会計

歳入歳出それぞれ600万円を追加し、補正後の予算の総額を935万5千円とするもの。

#### 《主な補正内容》

長瀬西部公民館の修繕経費の補正。



4月の暴風で被害を受けた町有2号源泉

### ☆宇野財産区特別会計

歳入歳出それぞれ35万1千円を追加し、補正後の予算の総額を370万9千円とするもの。

#### 《主な補正内容》

宇野地区公民館の修繕、財産区所有土地の地籍測量に要する経費。

## 条例関係

### ☆暴力団排除条例

暴力団が住民の安全で平穏な生活及び社会経済活動に不当な影響を与え

## 報告

### ☆各公社の経営報告

ゆりはま温泉公社、羽合温泉開発公社（平成23年度をもって解散）、鳥取県中部町土地開発公社、それぞれの経営状況についての報告がされた。（平成23年度事業報告及び決算並びに平成24年度事業計画及び予算）

### ☆各会計繰越計算書

次の3つの会計について、平成23年度から平成24年度への繰越計算書の報告がされた。

#### 【一般会計】

道路橋りょう等災害復旧事業など、総額4億8222万3千円を繰越。

#### 【介護保険特別会計】

介護保険システム改修事業、311万1千円を繰越。

#### 【下水道事業特別会計】

流域下水道建設費負担金など、総額1549万2千円を繰越。

### ☆教育行政の点検及び評価の報告

湯梨浜町教育委員会は平成23年度の主要事業について点検・評価を実施し、報告した。

主な対象事業は学力向上対策、不登校問題、中学校のあり方検討、家庭教育の充実、人権教育の推進など。

## その他

### ☆物品売買契約の締結

東郷小学校、泊小学校、東郷中学校の職員公務用パソコンなどを購入する。

契約金額

697万2千円

契約の相手方

(株)ケーオウエイ

代表取締役 小西 慶太

## 人事案件

### ☆人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて。

平成24年9月末に2名の任期が満了することに伴い、次の方を後任候補者として適任とした。

千熊 一郎 (敬称略) (別所)  
川崎 もと子 (藤津)



「ハワイゆ〜たうん」の浴室内

8人の  
議員が問う

一般質問

ここが  
聞きたい!



平成24年6月定例会の一般質問は、第4日目の6月18日(月)に行われた。

質問議員8人が登壇し、町政全般について熱心に議論を展開した。



6月定例会本会議（議場風景）

近年、原油高騰が続く中、沿岸漁業者は経費の出ない赤字漁の回避と、生活との間で大変困窮している。

沿岸漁業は、これまで農業と同様に国の根幹を支え、食糧自給の一翼を担ってきたわけだが、農業に比べて保護育成策は大きく立ち遅れている。そのため水産業の衰退に歯止めがかからず、さらなる支援対策が切望されている。

漁業者が置かれている現状の認識、そして沿岸漁業の将来展望について伺う。



上野昭二 議員

Q沿岸漁業者に温かい支援を

A関係者と意見交換しながら  
取り組む

答弁（町長）

現状認識については、漁獲量の減少と魚価の低迷に、近年の燃料の高騰などが厳しい現状の原因と認識している。

平成20年度に燃油が高騰した際には、県に合



給油岸壁で燃料補給している出漁前の漁船

せ燃料購入、省エネ燃油実証実験、ドック経費に対する支援を行った。

本年度予算では、町単独事業で行っているサザ工、アワビの放流、輸送経費の補助に加え、わかめ・昆布の商品化、観光遊覧船活動、地産流通、潮流計の利用促進などの支援を予算化した。

今後も関係者の方々とも意見交換しながら取り組む。

## Q 省エネ節電対策は

### A 自然エネルギーを活用



浦木 靖 議員

この夏、電力不足が懸念され、安全性が確立していない原発エネルギーに頼る方向にあるが、町長はどのような考えか伺う。

また、総務課宛に電力



「はわいこども園」に設置した太陽光発電施設

切替などに関するアンケートが来ていると思うが、どのように対応されたのか。

町は照明などにおいてLED商品などを取り入れ、節電に取り組んでいるが、費用対効果の点でどうか。

また、今年度から太陽光発電に取り組んでいるが、設置してから現在までどうであったのか伺う。

## 答弁(町長)

原子力発電については、依存度を低めていくべきだと思いが、現実の電力の供給量などを考えると、安全性を確保し、一定量を供給することもやむを得ないと思う。

アンケートは「電気をカエル計画」という団体からであり、回答はこれから行う。

LED照明への改修費用は約110万円であり、従来と比べ2分の1以上の電力量が軽減され、年間4万6219円の節約となる。なお、LED照明は蛍光管に比べ6〜7倍寿命が長く、経済的である。

太陽光発電は2877万9千円をかけ、役場庁舎と講堂の屋上に設置した。昨年12月からの6ヶ月間の発電量は1万4242kwhであり、電気料金単価で計算すると、19万3377円である。

## Q 韓国ドラマおよび女性モデルによる集客効果は

### A 幅広い活用に取り組み



コマーシャルで有名になった看板

平成22年夏に、湯梨浜町内で、韓国ドラマ「アテナ」の撮影が行われ、多くの観光客を見込んでいた矢先、翌年3月に東



河田洋一 議員

日本大震災が起こり、大きな影響を受けた。

今年から日本での放送が開始され、観光客集客に期待されるが、宣伝方法および集客効果は。

また、本年5月、平井鳥取県知事は、携帯電話メーカーのコマーシャルに出演した女性モデルを「鳥取ふるさと大使」に

任命し、「まんが王国」とりの女王」として起用されたが、湯梨浜町においても有効に活用される予定があるか。

## 答弁(町長)

一昨年12月から韓国でドラマの放映が開始され、韓国からの観光客が増加傾向にあったが、昨年3月の東日本大震災により客足が遠のく結果となった。

現在は、震災前以上に客足は回復してきている。今後も、ロケ地効果を利用し、集客に努める。

携帯電話の人気コマーシャルに出演した女性の活用について、観光大使、特別住民票交付など、県と調整し検討を重ねてきた。

このたび、補正予算でポスターなどに使用するための写真撮影などの費用を計上した。

今後、県などと調整を図り、幅広い活用に取り組んでいく。

## Q乳児1ヶ月健診を無料に

### A今のところ無料化は考えていない



増井久美 議員

妊婦健診費用は自治体の努力により、出産まで無料で受診できるようになり、大変喜ばれている。乳幼児の医療費も中学校卒業まで無料となり、子育て世代を大きく支援していることは大変喜ばしいことだと思う。

ところが、出産後初めて受診する1ヶ月健診が有料で、6000〜7000円かかって驚いたという声が寄せられた。合計特殊出生率が1.39と発表され、どうやって出生率を上げるか対策が問われているときである。ぜひ1ヶ月健診

の費用を助成していただきたい。

### 答弁(町長)

これまで少子化対策の一環として、子どもを安心して産み育てるために、妊婦へは出産までの14回の健康診査、乳幼児

へは法で定められている1歳6ヶ月児健診と3歳児健診のほかに、町独自に必要な時期ごとに健康診査や歯科検診を実施している。

その中で、指摘の1ヶ月健診は抜け落ちていたようだが、今のところ無料化は考えていない。

今後、さらに勉強し、必要であれば国や県に申し入れたい。

また、中部地域の広域的にも検討してみたい。



乳幼児の無料健診で健康チェック

雇用促進奨励金制度は、町内の人を正規雇用労働者として増やすという点では良い制度だと思う。しかし、手続きが非常に面倒で、これではなかなか利用しにくいのではないか。

また、ハローワークを

通さなければならぬと

なると、現在、事業所でパートやアルバイト、派遣などで雇われている人には常用雇用の道は開けない。

もっと利用しやすい制度にすること、特に若年労働者の常用雇用に力を入れる制度に改めるよう要望したい。

## Q町雇用促進奨励金を

### A制度に問題があれば利用しやすく改善する



制度の利用はハローワークへ

### 答弁(町長)

この制度は、商工業関係者向けに設けた。一次産業には各種の支援制度があるが、商工業にはなかった。近年増加しているワーキングプアへの対策として新設したものである。

特に、町内在住者の新卒者を対象に、ハローワークを通しての新規の正規雇用により、雇用の場を確保するものだが、現時点での利用者は少ない。

町民への周知の方法や、手続きの上での問題など、制度に改善すべき点があれば改善していきたい。

### ◆雇用促進奨励金

一定の要件を満たす町内の事業所が、町内在住者を正規で6ヶ月以上継続して雇用した場合、1人につき10万円(新卒者は15万円)の奨励金を雇用主に対して交付する制度。

## Q 児童館は廃止を含めて

### 見直しを

#### A 関係者を交え検討



竹中壽健 議員

児童館事業の概要では、健康増進、児童福祉向上に貢献するなどであるが、具体的な事業内容、

利用状況および職員配置などについて伺う。

児童館は日中ほとんど利用されていない。学校が終わってから学童が利用しているが(無料)放課後児童クラブ」を利用すればよいし、人権学習などは学校で対応されればよい。



田畑児童館で行われた交通安全教室

田畑児童館に保育士が

配置されているが、町民の理解は得られないと思う。住民からも児童館は必要ないとの声も聞く。廃止を含めて抜本的に見直すべきと考えるが、考えを伺う。

#### 答弁(教育長)

田畑児童館では、館長保育士、臨時職員を各1名配置し、「ランプシード作り、地域の方による「本の読み聞かせ」などを行っている、平成23年度児童生徒の利用状況は1日平均15人となっている。

浜児童館では、非常勤の館長、臨時職員、パート職員を各1名配置し、ストラップやキーホルダー、カレンダー作り、植物の栽培などを行い、1日平均7人の利用となっている。

放課後児童クラブと児童館の機能が重複する面もある。今後の児童館のあり方について、関係者を交え、検討していく。

## Q 高齢者への

### 消費者問題の啓発は

#### A これからも啓発活動で周知

平成23年度消費者セン

ターの相談件数は4048件であり、減少はしているが、70歳代の相談件数は増加している。中部では押し売りの電話、オレオレ詐欺が発生しているが、湯梨浜町での内容を把握しているか。

また、今後の啓発活動はどう取り組むのかを伺う。

29歳以下の若年層では、放送、携帯、出会い系サイト、カードゲームの相談が増加している。青少年への教育体制、指導体制が急がれるのではないかと。具体的な計画が



会見祐子 議員

あるのかを伺う。

#### 答弁(町長)

県消費生活センターが発表した概要では、昨年度の本町の相談件数は112件あり、そのうち70歳以上の方は15件であった。

相談業務はNPO法人に委託し、中部1市4町で共同実施している。連携を密にしながら、町内の適切な状況把握に努めたい。

平成24年度 鳥取県高齢者健康づくり推進大会

【日時】平成24年 9月4日(火) 13:30~15:30

【会場】倉吉未来中心 小ホール (倉吉市駅前寺町212番地5)

【講演】いつまでも若々しく生きるために

講師 白澤卓二氏

【講師】 鳥取大学大学院教育学部 教授 白澤卓二氏

【主催】 鳥取県高齢者福祉推進協議会 ◆共催 鳥取県老人クラブ連合会 ◆協力 倉吉市、三朝町、湯梨浜町、孝親町、北栄町

鳥取県高齢者福祉推進協議会事務局 〒688-0214 鳥取県湯梨浜町湯梨浜大字湯梨浜5002 総務課 TEL: 0858-52-1087 FAX: 0858-52-1087

詐欺防止への啓発活動

これからも出前講座、福祉担当課と連携した講座など啓発活動を行い、高齢者へ周知していきたい。

#### 答弁(教育長)

県教育委員会ホームページで携帯の対応方法を公表し、注意喚起するとともに、NPO法人とも連携し、全県的に啓発に努めている。

また町では、インターネットトラブルに関する保護者研修会などを開催し、未然防止を図っている。児童生徒に対しては、活用モラルの学習などを充実させていきたい。

## Q 新型インフルエンザ対策は

### A 計画策定の準備を進める



浜中武仁 議員

新型インフルエンザ等の発生時において、国民の生命および健康を保護し、並びに国民生活および国民経済に及ぼす影響が最小となるようにするため、「新型インフルエンザ等対策特別措置法」が定められた。

この法の中には、市町村が行わなければならない事項として、新型インフルエンザ等対策の実施に関する「市町村行動計画」を作成するよう求められているが、本町の対応について所見を伺う。

#### 答弁（町長）

病原性が高い新型インフルエンザや危険性のある感染症に対して、対策特別措置法が平成24年5月11日に公布された。この法律では「都道府県行動計画に基づき、市町村

の区域に係る新型インフルエンザ等対策の実施計画を作成するものとする。」と規定している。

国・県において見直しの必要があるが、政府行動計画が未策定であるため、都道府県行動計画が作成されず、市町村計画にも着手できないのが現状である。

情報収集に努め、迅速かつ的確に計画策定ができるように準備を進める。



インフルエンザ予防接種

## Q 防災機能の向上を

### A 必要に応じて対応

文部科学省は、東日本大震災の検証を踏まえ、非構造部材の耐震化も速やかに行う必要があると指摘している。天井、壁、照明、窓ガラス、書棚など、各公施設の点検を速やかに実施し、不良箇所があれば早期改修を行う、安全確保に努める必



出典：「地震による落下物や転倒物から子どもたちを守るために～学校施設の非構造化部材の耐震化ガイドブック～（平成22年4月）文部科学省より」

要があるが、今後の取り組みについて所見を伺う。  
国の緊急提言では、学校は水や電気の設備を備えておく必要があるとされている。防災機能を高めるため、自家発電設備や浄水装置の設置を行う必要があるかと思いが所見を伺う。

#### 答弁（町長）

各施設の安全点検は定期的に行っているが、非構造部材の耐震化を目的とする点検は実施していない。耐震性に配慮した点検として、どのような方法があるのか検討してみたい。

自家発電設備や浄水装置の整備には多額の経費がかかる。どの施設に何を整備するのか、町災害対策本部などで議論していく。

#### 答弁（教育長）

東日本大震災後、文部科学省からの照会で、町内すべての学校の点検を教職員で実施した。

毎月、安全確認を行っているが、現時点で異常は確認されていない。疑義ある場合は確認し、必要に応じて専門業者に依頼して対応することとしている。

## Q 通学路の安全確保は

### A 安全施設の設置を 国・県に要望

今年、4月23日朝、京都府亀岡市で集団登校中の小学生の列に軽自動車が出っ込み、10人が負傷した事故が発生した。そのうち3人が亡くなられたという痛ましい事故があった。

事故現場の状況を見るのに、道路幅も狭く、白線を引いただけで車道部分と歩道部分を分離した通学路は、安全が確保されているとは思えない状態であった。

このような状況を踏まえて、本町の通学路の安全チェックはどうか伺う。また、安全啓発などの



入江 誠 議員

取り組みについても併せて伺う。

#### 答弁（教育長）

交通量の変化などを考慮して通学路の見直しをしている。

小学校では、各集落の保護者が年度末の3月に、学校までの通学路を子どもと一緒に歩いて点



整備された通学路

検し、安全確認を行っている。中学校では、学校と生徒によって安全性が確保されている。

#### 答弁（町長）

町交通安全協会と連携し、ドライバーの安全運転へのモラル向上を目指して啓発、啓蒙を図っていく。

交通事故を防ぐには、車道と歩道の区分けが必要であり、歩道の設置、ガードレールなどの設置を国・県に要望している。

## Q 「ふるさと納税」の 取り組み見直しを

### A 取り組みを強化

故郷など任意の自治体に寄付を行うことで、住民税などの控除が受けられる「ふるさと納税制度」は、平成20年にスタートし、鳥取県内19市町村への寄付金は、22年、23年の両年度とも総額1億円を突破した。

本町でも、23年度は86



「湯梨浜の四季」の発送準備

万円となり、少しずつ増加傾向にある。しかし、近隣の三朝町（426万円）、北栄町（666万円）、琴浦町（336万円）に比べると少ない。取り組み方に温度差があり、見直し検討が必要と思うが、所見を伺う。

#### 答弁（町長）

今までの取り組みは、職員が同窓会などの際にチラシを配布する、県外に行っておられる親族、知人などへダイレクトメールを送る、イベントなどの際の資料にチラシを同封するなど行ってきた。

他市町との差があることから、今年度はチラシの作成費を予算計上した。今以上に湯梨浜町の取り組みを支援しようという気持ちを持っていただけに、見直ししていく。

お礼を送る対象額の改善と特産品などを生かしたお礼の品の魅力アップ、毎年継続してご寄附いただいている方への配慮を図りたい。

より多くの方に呼びかけるための取り組みを強化し、たくさんの方からご寄附をいただけるよう取り組みでいきたい。

# 的な提案が続々届く

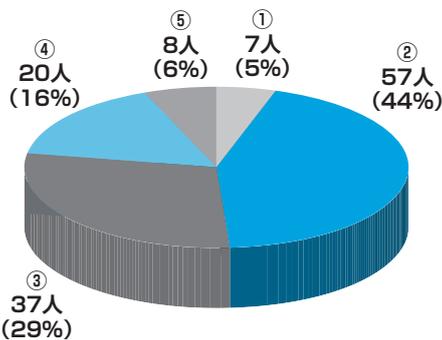
湯梨浜町議会では、より親しまれ、わかりやすく読みやすい広報紙にするために、今年4月に「議会だより」へのアンケート調査を実施しました。

町民の中から無作為に抽出した272名の方に協力をお願いし、129名(47%)の方より回答をいただきました。

その結果を次のとおり公表します。

この調査結果は、今後よりよい「議会だより」を作っていくための参考にさせていただきます。お忙しい中ご協力いただいた皆さま、誠にありがとうございました。

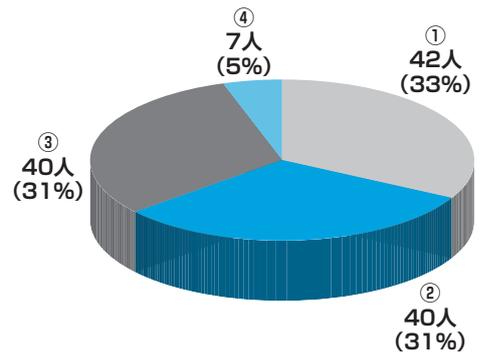
## Q5. 「議会だより」の全般的な内容について、どのように感じていますか？



- ① 良くわかる
- ② だいたいわかる
- ③ ほとんどわからない
- ④ まったくわからない
- ⑤ その他

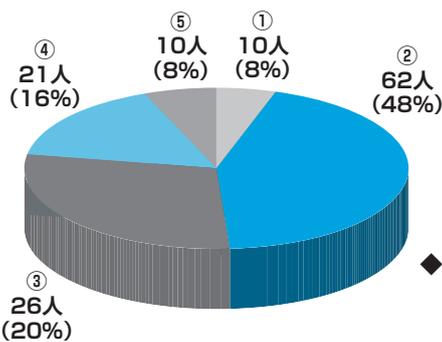
◆その他の意見(抜粋)  
 ・結果がどうなったかわからない。  
 ・読まないのかわからない。

## Q7. 「議会だより」の必要性は？



- ① 今までどおり必要だと思う
- ② TCCや動画配信されていない内容であれば必要だと思う
- ③ 経費の無駄になり必要ないと思う
- ④ その他

## Q6. 「一般質問」の内容について、どのように感じていますか？



- ① 議員と行政の主張が良くわかる
- ② 主張はだいたいわかる
- ③ ほとんどわからない
- ④ まったくわからない
- ⑤ その他

◆その他の意見(抜粋)  
 ・質問の趣旨がわからないところがある。なぜ問題になっているか、数ページでは理解されないのでは。

一部のご意見をQ&A方式で掲載します。すべてを掲載することは、紙面の都合上省略させていただきます。ご了承ください。貴重なご意見ありがとうございました。

**Q** 読んでもらうことを目的にするのであれば、それなりの工夫が必要ではないか。

**A** イラストやフォントの活用方法の検討、行政用語を多用しないよう工夫に努めます。

**Q** 町報の中で、議会紹介などの欄を設け掲載してはどうか。

**A** 作成時間や機関紙としての独自性の問題などから現時点では難しいと思います。

**Q** テレビなどはあまり見る機会がないので、いつでも目を通せる文面のもがいい。

**A** できる限り読みやすい紙面づくりに努めます。

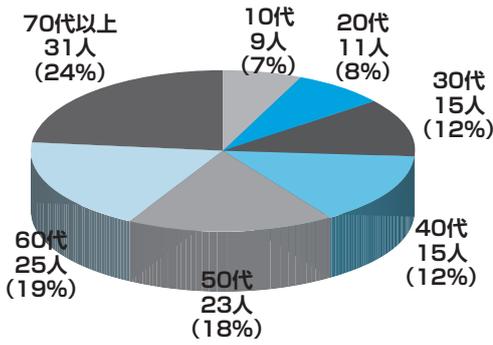
**Q** 議員削減により大変だと思つて、紙面を減らしてもよいと思つて、紙面量は定例会などの議会活動の内容により、簡潔にまと

**A** めたいと思います。

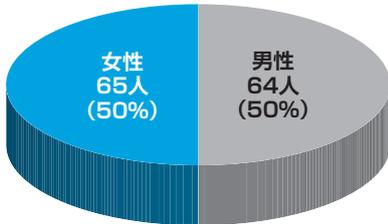
# 《アンケート調査の結果報告》

## きびしい意見や建設

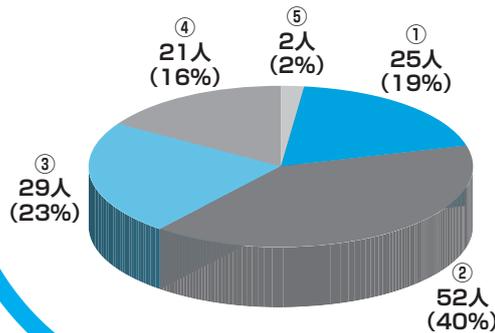
### Q1. 回答者の年齢層



### Q2. 回答者の性別



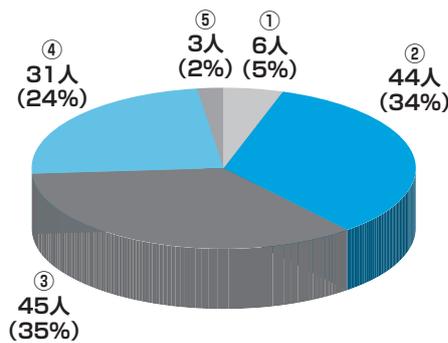
### Q3. 「議会だより」をどれくらい読まれていますか？



- ① 毎回かかさず読んでいる
- ② ときどき読んでいる
- ③ ほとんど読まない
- ④ まったく読まない
- ⑤ その他

◆その他の意見  
 ・存在を知らなかった。  
 ・議員活動が見えない。

### Q4. 「議会だより」は役に立っていると思いますか？



- ① たいへん役に立っていると思う
- ② どちらかといえば役に立っていると思う
- ③ あまり役に立っているとは思わない
- ④ ほとんど役に立っていない
- ⑤ その他

◆その他の意見  
 ・読む気なし。  
 ・「議会だより」の立ち位置はどこにあるのか。  
 住民の知りたいという要望に応えているのか。

**Q** 議会の内容をTCCなどで放送してもあまり見ないので意味がない。

**A** 町民生活に直接関係する内容などを見逃さないためにも、ぜひご覧ください。

**Q** 町民から議会に対して、投稿や意見があれば「議会だより」で紹介してはどうか。

**A** 議会事務局に投稿された意見などは随時掲載します。裏表紙に書いてある連絡先に遠慮なく投稿してください。

**Q** TCC放送、録画配信を意識しすぎて、内容が見せかけに思える。

**A** 様々な問題に対して真剣に考え発言していますが、気を付けたいと思います。

調査の結果、読者率は約60%あるにもかかわらず、役に立っている割合が39%と低い点に、大きな反省点があると痛感しました。

今後は、できる限り多くの人が読みたくなるような紙面になるよう工夫し、みなさんに親しんでいただける「議会だより」を目指し、一致協力し頑張ってまいります。

# 常任委員会

## 審議内容

総務産業常任委員会

6月20日ほか2回

### ◆暴風被害について

4月22日の暴風で、町有2号源泉建屋が倒壊。緊急復旧費に約300万円。

### Q 2号源泉が休止していることをなぜ防災無線で知らせなかったのか。お湯が出ないとの苦情が多かった。

A 防災担当と協議し、町外の方も利用することから防災無線は利用しなかった。防災無線のあり方について協議していききたい。

### Q 2号源泉の修繕はいつごろ完了するのか。それまで水中ポンプは持つのか。

A ポアホールを発注し

てから7週間ばかりかかると、8月中旬ごろになると思う。水中ポンプに何かあれば緊急対応する。

### ◆町有地売却について

「はわいこども園」の隣地を一般競争入札で売却。中部福祉会が落札し、介護施設を建設する。来年4月開設予定。



3月中旬に確認された道路の亀裂

### Q プールだった土地は売却されなかった。駐車場として残してもよいのではないかと。

A 財政面から売却を考えていたが、駐車場として半分程度残すような話が出ている。今後検討する。

### ◆町道筒地原線に亀裂

3月中旬に亀裂が確認され、4月13日から該当部分を通行止めにしていく。

### Q 現在の状況は。

A 1ヶ月程度で、最大で真下に1・5センチ、横に2センチの大きな移動が見られる。

### Q 今後の復旧の考え方は。

A 測量を続けていかなことどの程度になるかわからない。2〜3年の測量期間が必要で、通行止めも継続しないといけない。

### ◆暴力団排除条例

### Q 暴力団の定義づけは。

A 町独自で対応することとは難しい。そのような権威を見せつけられた場合は、警察が指定した暴力団かどうか照会してから対応する。

### ◆天女の降る里づくり

### Q 今後の方向性は。

A 町のシンボルとして「天女」を売り出していく。女性をターゲットとして、東郷湖周の整備やウォーキングコースの整備などを行う。



天女が羽衣を置いたと言われる大岩

### Q 倉吉の打吹天女との連携は。

A 倉吉とは同じ天女の話でやっていることと話をしている。倉吉だけでなく、天女伝説のある土地との連携をとっていききたい。

### ◆羽合漁港について

### Q 漁港内の堆積土砂を羽合海岸に養浜するとあるが、どのような状況か。

A 羽合海岸は、4月の暴風の影響もあり、相場の砂が浸食されている。

### Q 羽合漁港は小規模だが、組織の合理化などは考えているか。

A 出漁日数が限られるので、多くの利用は望めないが、一挙になくすことは考えていない。利用しやすい状況にしていくことを考える。

◆健康（ヘルスケア）

昨年、視察で訪れた兵庫県豊岡市では、市立施設を拠点に健康づくり事業に取り組み、一定の効果を上げていた。

湯梨浜町でも、龍鳳閣などの既存施設を有効活用しながら事業展開できないか検討している。

Q 町内施設を有効活用すれば、町民の健康増進、介護予防などにつながるのではないかと考えているか。

A 龍鳳閣での温泉トレーニングは送迎の関係もあり、高齢者の利用は少ない。町内施設にどのような器具があるのか調べた上で、町民へPRし、有効活用を図りたい。



「龍鳳閣」のトレーニングルーム

Q 担当課だけでなく、課を超えた連携で取り組んでほしい。

A 4月から健康推進課、長寿福祉課、生涯学習・人権推進課の3課で、定期的に話し合いの場を持っている。今後は具体的な事業や民間で行っている事業などの情報を収集し、共有していく。  
今年度は「天女の降る里づくり事業」の中で、「ノルディックウォーキング事業」にも取り組んでいく。

Q 65歳以下の方の健康づくりについては。

A 龍鳳閣で60〜64歳の方を対象として、週1回の温泉ウォーキング教室を計画。対象者は1400人あまり。

◆東郷地域の保育所・幼稚園の在り方について

現在、東郷地域には、東郷保育所、花見保育所、松崎幼稚園の3つの町立施設と、私立の太養保育園がある。そのうち、東郷・花見保育所の園舎は老朽化が激しく、松崎幼稚園では低年齢児の受け入れができない。太養保育園には新設移転計画がある。  
良質な保育・教育を提供するためには適切な集団を確保することが重要であり、公立2、私立1と再編する方向で検討してきた。  
町は、東郷・花見保育所を統合し、現在の花見コミュニティ施設敷地内に新設する考えをまとめた。

Q 現に花見コミュニティ施設にある建物はどうされるのか。

A 体育館、旧校舎は現在も使っているので、これからの検討課題である。

Q 松崎幼稚園の低年齢児受け入れについても同時進行で考えなければいけないのでは。

A 築10年の新しい施設だが、設備面で、現状のままでの受け入れには無理がある。増改築

には多額の経費がかかる。

当面は現状のまま存続し、将来的な園児数を勘案しながら検討していく。並行して話を進めていきたい。

Q 太養保育園の取り組み状況は。

A 70人定員規模の施設新設を、平成26年4月開園を目的に進めておられる。現在は候補地の選定をされているようだ。

Q 泊地域についてはどう考えているか。

A 合理化を進める一方で、定住対策にも取り組まなければならない。過疎計画を精査し、地域の方の理解を得ながら取り組みたい。

◆移動販売に県補助金

町内施設（ゆりはま大平園）が行う移動販売サービスに県から補助金を交付する。

Q 補助金の内容は。

A 大型ワンボックスカーの購入費と、冷蔵設備などの改造費。事業費の2分の1を県が補助する。町での上乗せは考えていない。

Q どのようなものが販売されるのか。

A 施設で作られた野菜、県内障がい者施設で作られた物品のほか、魚介類、肉類、乳製品、冷凍食品なども販売される。



幼保一体化施設の建設が予定されている「花見コミュニティ施設」

## 月例報告会

4月11日

☆湯梨浜町税条例、湯梨浜町国民健康保険税条例の一部改正に係る専決処分についての報告

平成24年3月に地方税法の一部が改正されたことに伴い、2つの条例の改正を専決した。

主な改正内容は次のとおり。

### 《税条例》

◎年金所得者の申告手続きの簡素化

◎固定資産の評価替えの見直しで、住宅用地の据置措置を不公平是正の観点から廃止する。  
(経過措置として、平成25年まで継続)

### 《国保税条例》

◎東日本大震災被災者の国民健康保険税を軽減するため、優遇措置を講ずる。(居住用財産の敷地に係る譲渡期限の延長)

## ☆湯梨浜町中学校統廃合検討委員会意見書(最終)についての報告

(意見書の内容は町ホームページに掲載)

◎ 最終の意見書に至るまでに、保護者の意見はどの程度収集されたのか。

◎ 昨年9月に、小中学校PTAを対象とした会を羽合、東郷で1回ずつ開催した。

建設場所によって通学がどうなるか(照明設備・道路環境の整備など)や、教科学習について先生の数を心配する声があった。

◎ 住民説明会などの今後のスケジュールは。

◎ まずは住民に周知し、町としての具体的な方法がいいのか、具体的に検討する。

その後、住民説明会などを開催し、今年度中には基本設計に取り掛かる。

秋口くらいには、方

向性を出したい。

## 第3回臨時会

5月2日

### ☆専決処分の承認

4月の月例報告会で報告のあった、2つの条例改正の専決処分について、全会一致で承認しました。

## 議会広報常任委員会がスタート

5月1日付で「議会広報常任委員会」を設置したことに伴い、次のおり委員6名が選任され、委員長、副委員長を互選しました。

委員長	上野 昭二
副委員長	増井 久美
委員	会見 祐子
委員	吉村 敏彦
委員	河田 洋一
委員	浜中 武仁

## 自園調理給食を体験

4月27日に教育民生常任委員会が「はわいこども園」、6月20日に総務産業常任委員会が「田後保育所」にそれぞれ給食の試食に訪問しました。どちらの園でも子どもたちは笑顔いっぱい、とてもおいしい給食でした。

「はわいこども園」では、芝の管理の問題、「田後保育所」では、ゆうぎ室の広さの問題などについて、それぞれ園長先生から話を伺いました。

子どもたちにとってより良い施設にするため、今後の検討課題として考えていきます。



「田後保育所」での給食体験



「あやめ池公園」での説明

## 町内施設の視察(東郷地域)

6月22日、東郷地域にある公共施設の視察研修を行いました。

「道の駅・燕趙園」では、今年5月より販売開始となったオリジナル弁当「梨の玉手箱」を試食しました。

「今滝」では、滝床料理の利用状況について、担当者から説明を受けました。

「あやめ池スポーツセンター」では、利用状況や施設について説明を受けました。町内の方にも、もっと利用してほしいという話を伺いました。

「あやめ池公園」では、ちょうどあやめが見ごろで、花の管理方法などについて伺いました。

# 意見交換会を開催します！



湯梨浜町議会では、議会改革の一環として、議会の活性化と透明化、住民参画を推進するため、「意見交換会」を開催することにしました。

議会で決定したこと、現在検討していることなどを報告し、町民の皆さんからご意見や提言をお聴きして、今後の議会運営に反映させていただきます。

お誘いあわせのうえ、おいでください。

## 議会報告

- 町内業者の保護育成について
  - 地区公民館について
  - 行財政問題について
  - 中学校統廃合問題について
  - 議会改革について
- など、各委員会から所管事項を報告します。

## 意見交換

- 議員報酬について
- 議会・行政に対する意見・提言について

## 日時・場所

- ◆ 8月4日(土) 中央公民館  
(役場東郷支所向い側)
- ◆ 8月11日(土) 中央公民館泊分館
- ◆ 8月25日(土) ハワイアロハホール

- ◎時間は各会場とも、午後7時～9時
- ◎報告内容はどの会場も同じです。

# 陳 情 審 査

6月定例会において常任委員会に付託した請願・陳情は、慎重に審査を行い次のとおり決定しました。

件 名	陳 情 者	審査結果
最低賃金の引き上げと安定雇用の創出、中小企業支援策の拡充を求める「意見書」採択の陳情	鳥取県労働組合総連合 議長 田 中 暁	趣 旨 採 択 (12:16)
消費税増税に反対する意見書の提出を求める陳情書	鳥取県民主商工会連合会 会長 奥 田 清 治 外3団体	趣 旨 採 択 (13:16)

※括弧内の数字は、議長を除く16議員のうち、趣旨採択に賛成した議員の数です。(賛成：出席議員数)